

は・あ・や・の・う・け・う・り

「個人賠償」

前から歩いてきたおじいさんが、つまづいて私の横に倒れ、その時私のバックのヒモをつかんだらしく、私もおじいさんの上に重なるように倒れて…キヤー。 恥ずかしかった…。 お互いケガがなくて良かったけど…私が骨折していたら…治療費をあのおじいさんに請求できる？そして、もっと考えてみたら逆パターンで、私が転んで誰かをケガさせることもある…と。その時は、「ごめんなさい」だけではすまない…と、思いました。 加入している共済保険を見たら、「個人賠償責任保険」が、一番下についていて、少し安心しました。

例えば、 私または家族が、
 間違って友達にケガをさせた…
 自転車でケガさせた…物をこわした…
 飼い犬が、かんでケガをさせた…
 店の商品をこわしてしまった…など、
 損害賠償責任を負った場合の損害を補償する保険です。

転ばぬ先の杖…ということばがありますが、おじいさんのお陰で、車でなくても加害者になる…と、言うことがわかりました。

「木表と木裏」…きれいに削られている板だと、どっちが表？…と。名札の板を例に、大河内建築さんに聞いてみたら、「皮側が表…年輪の内側が裏」と。頭ではわかるけど、厚さ1cmの板を見ても???わからない…。

「板の切断面を縦に持って年輪の線を見る。線が左回りなら、右側が表になる。表札や名札は、裏に書いたり…上下逆さに書いては、絶対ダメなんだよ。縁起悪い…出世しない…って言われて」と。そういう伝えがあったのですね。集会所に、歴代の区長さんの名札がかけられているのですが、「あの板は、ヒノキなんだよ。4mのヒノキを買ってきて、あのサイズに刻んで、無報酬で作ってやってんだよ」とえびす顔で。 そうでしたか… 本当にありがとうございます。

今年はツバメも早かったですね
 「田んぼにまだ水が入ってないよ…泥がないのに大丈夫かな…」と孫が。
 大丈夫…野生の生き物は頭がいいから…
 「暗くなるのに、2羽いた巣に1羽がまざって、ケンカのように飛び回っているけど、大丈夫かな…」
 大丈夫…ケンカ弱い方がにげていくから…
 「暗くなっちゃたのに戻ってこない、大丈夫かな…」
 大丈夫…森には鳥のねぐらがあるから…
 とは言え…自然界はきびしいですからね…。

夏井いつき先生の俳句

【 春の鳥くればもてなす用意あり 】
 先生はどんなもてなしを…？



三日月を
おきたき
春の森